

ファッションと業界人物列伝

— 「あの時、私は…」 —

消費は新品を買う時代から、あるモノを使いこなす「成熟化時代」へ向かう

(前号から続く)

水野：私が日本進出のアドバイザーになったウェブブラウザー会社ネットスケープ社の創業者、ジム・クラークと1995年頃に話していたら、「あと5年後に世界一の書店がインターネット上ができる」と言っていました。「バーズ&ノブルがネット上で事業を始めるのか?」と尋ねると、「私の友人がシアトルのガレージでネット書店を起業したが、それが5年後には世界一になるだろう」と答えた。それがアマゾンだったんですが、今では世界一の書店以上の存在になってしまった。当時のわれわれにとってはネットはモノを売るなんて絵空事だったけど、これをきっかけにネットの世界にのめり込んで、アメリカから日本に来たいと言っている情報産業、eコマース、サービス業などのコンサルをしばらくやっていました。

三浦：森ビルとは関わりがなくなりになったようですね?

水野：故森稔・森ビル社長が私のところにいらして、アークヒルズのリニューアルと六本木ヒルズのオープンのために百貨店経験者を紹介してくれと頼まれたので、伊勢丹の頭山秀徳さんをご紹介しました。それが縁で、私は特別顧問という立場でアドバイザーを11年間やりました。例えば森社長は、六本木ヒルズの中に劇場を造りたいということで劇団四季の誘致を考えていましたが、「そういう時代では



2011年10月、神戸外苑のラフェスタ・ミルミリアで趣味であるクラシックカー「ブガッティ T37A」を運転する水野氏と夫人の木内みどりさん

ない。むしろヴァージンシネマズの1号店を入れた方が相乗効果を生む」とアドバイスして実現させました。流通関連ではこの森ビルのお手伝いをしただけです。あとホテル業界では、ペニンシュラの日本進出に10年がかりで取り組みました。

三浦：消費の新しい傾向として注目されていることはありますか?

水野：インバウンド消費が増える一方でわれわれの消費はモノを買う時代から、すでにあるモノをシェアしたり、使いこなしたりしていく「成熟化」の時代になると思います。

三浦：ファッションでは、アウトレットはすでに飽和状態ですが、ビンテージというか、古着が注目されています。単に価格などの問題ではなく、「成熟化」が根底にあると思います。古着セレクトとして急成長しているWEGOには注目しています。

水野：住居にしてもシェアリングだとか、Airbnbなどが注目されていますが、そういう方向性はどんどん強まっていくでしょうね。

三浦：空き家が日本中で800万戸とかいう時代ですからね。2020年の東京五輪をにらんでAirbnbは増えそうですね。

水野：オリンピックで思い出しましたが、大型スタジアムを造るのではなく、仮設シートで席数を増やすことが最近の主流になっています。とりわけ欧州には数十万単位で仮設シートを持っている企業が数社あって、リオ五輪でもフル稼働しています。ロンドン五輪のビーチバレーのときは1万5000人のスタジアムを王室の馬場に42日間で造って、競技に使って2週間で撤去しました。リサイクル率95%。究極のエコです。これを日本に持ってこようと、現在コンサルをしています。日本では国立競技場問題もありましたが、巨大スタジアムで国威発揚なんていう時代は終わっていますね。

三浦：オフィスなんかでもヨーロッパは独自の動きがありますよね。

水野：新しいオフィス用の高層ビルも建ててはいますが、古い歴史的な建築物を改装して事務所にするという傾向がヨーロッパでは根強いです。アメリカですら

そういう動きが出ているし、その方が時代に合っていると思われ始めています。

三浦：使われなくなったオペラハウスに図書館を造っちゃうみたいなこともありましたね。ところで2020年東京五輪までは持つと言われている安倍政権についてはどんなふうにお考えですか?

水野：アベノミクスでは、3本の矢に続いて新3本の矢とか言っていますけれども、あれは「矢」ではなくて「的」ですよ(笑)。GDP600兆円とか介護離職ゼロとか希望出生率1.8とか、当たりそうもない「的」ばかりですよ。例えば介護士を増やさなきゃならないのに、介護報酬を下げるという矛盾した政策をやっているし。

三浦：そういえば水野さんが80年代に主戦場にされた渋谷の街は大工事中ですね。

水野：渋谷を熟知していた私ですら、今渋谷駅に降り立ったら、どこに行ったらいいか分からないカオス状態ですね。渋谷自体も私たちがセゾン文化を根付かせようとしていたころとはだいぶ異なってきました。最近は、迷子になるといけないので、駅に近づかないようにさせていただいています(笑)。

三浦：それは残念ですね。いろいろと長時間ありがとうございました。今後のご活躍を楽しみにしています。

(次号からは八木雄三・八木通商社長が連載の11人目のゲストとして登場します。ご期待下さい。編集委員 三浦 彰)

File.10

IMA代表取締役/
元西武百貨店社長

水野誠一

Seiichi Mizuno

第6話
(最終回)

※プロフィールは3月7日号参照